

石川県公共情報コモンズ市町説明会を開催

総務省北陸総合通信局(局長 齊藤 一雅)は、平成25年2月20日(水)、金沢市内で、石川県公共情報コモンズ市町説明会を開催しました。



挨拶する寺尾室長

本説明会は、北陸情報通信協議会安心・安全部会が昨年12月に策定した「公共情報コモンズの導入に関する中間報告」を受けて、石川県市町の防災担当課職員の公共情報コモンズに対する理解を深めるとともに、公共情報コモンズの導入に向けての機運を醸成することを目的として開催したものです。

主催者を代表して、北陸総合通信局の寺尾防災対策推進室長が挨拶した後、同局の加藤情報通信振興室長が、「公共情報コモンズの普及に向けた総務省の取組」と題して、また、一般社団法人マルチメディア振興センター(FMMC)の小林担当部長が、「公共情報コモンズの取組状況」と題して登壇し、公共情報コモンズの導入経緯、仕組み・機能、導入メリット、導入地域の事例、全国・北陸地域の動きなどについて説明を行いました。

引き続き、株式会社石川コンピュータ・センターが、「公共情報コモンズ活用ソリューションについて」と題して、北陸情報通信協議会安心・安全部会が取組を進めている、“民間事業者が提供するクラウドサービスを利用して公共情報コモンズに接続する形態“に関し、説明を行いました。

また、以上の説明を受けて、活発な意見交換が行われました。

市町の防災担当者を対象とする説明会は、今後、富山県、福井県でも開催する予定です。

北陸総合通信局及び北陸情報通信協議会安心・安全部会では、今後も、公共情報コモンズの早期導入に向けた取組を進めてまいります。



FMMC小林担当部長の説明